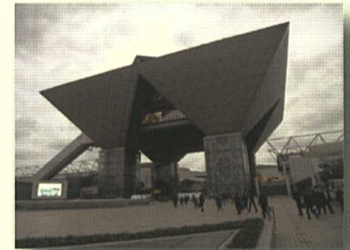


国会議事堂は1年前の修学旅行で来たばかりだという息子と今回が初めての見学となる母(私)は一人ワクワクでした。上等なスーツの人たちのキラリ!と光る金バッチに、少々緊張しながらの見学となりました。パンチ!の効いたガイドさんの流暢な解説が興味深く、近代日本史を担ってきた場所に重みを感じ、歴女?としては感動的でした。空間としても建設当時の伝統技術と、欧米の新しい技術をコラボした贅をこらした仕事に感心し、また重厚な面持ちはどこかヨーロッパの宮殿にでもいるかのようでした。そのあとに昼食を議員会館の食堂でいただいた時は、日本的な雰囲気になごみました。

次に向かったIPEC会場であるお台場の東京ビックサイトでは、自由見学という事でブースを見て回りましたが、出展ブースの減少に不景気の影響が出ているよう感じました。そんな中でも出展ブースの展示の仕方や、また出展社の方々の説明などを直に感じる事はとても勉強になりました。帰路のバス車中では、普段お会い出来ない方々や、初めましての方々との談笑で盛り上がり楽しくすごすことができました。見学ツアーは普段なかなか行けない所へ行くことができ、とても有意義でした。事業委員会の企画者の方には感謝いたします。



国会議事堂は仕事でその前を通りよく見かけはしますが、建築内を見学するのは18年ぶりでした。内装には33種類の大理石が使っており、壁面の彫り物の意匠や天皇の休憩室には驚きで、竣工まで17年を要したのもわかる気がしました。今回の見学会は目で見て学び、個性的なガイドさんからは国会議事堂のエピソードなどを聞いて楽しみ、とても有意義な時間が過ごせました。
(榎井上デザイン 有ヶ谷 尚)

いつか見てみたかった!テレビでしか見たことのない国会議事堂に、中まで入って見る事ができるとは夢にも思っていませんでした。広すぎて途中で迷子にもなったので、一生忘れられない思い出となり貴重な体験をする事ができました。このような機会を与えてくれた黒田設計の黒田さんと、インテリアプランナー協会の皆様には感謝しています。ありがとうございました。
萬寿コーポレーション マンジュ カツリラタナ
(Kasthurirathne Thennekoon Appuhamillage Manju Medha Kasthurirathne)

1年前に修学旅行で来たときより、壁が白くなっていて驚いた。議員会館で議員バッチマークの爪切りを記念に買った。
中学1年 亀山元基

平成22年度 ビフォーアフター 施工事例

アトリエ.F 大場房夫

静岡市清水区にある、昭和20年代に築造された築50年程の建物の耐震補強+リフォーム+外構工事の事例です。戦後間もない時期の普請ではあるが、檜尺角の大黒柱、飴色の柱、梁、木製建具、欄間など、趣のある瀟洒な建物であった。



ビフォー



アフター1



アフター2

この建物は昭和50年代に「新建材によるリフォーム」が実施されており、2回目のリフォームとなる今回は、新建材の厚化粧を剥がす事から始め、建物本来の持つ美しさを引き出す事とした。柱、梁、天井、建具等の木部のアク洗いを施し、能登ヒバの無垢床材と壁の漆喰により、心地良い内部空間となった。外部は玄関の格子戸、一文字瓦、玄昌石等により伝統的なデザインとし、建物デザインに合わせ「門、塀、車庫」を新設した。